



# 2021 年度 東海大学 2 日目

## 【 講 評 】

大問構成は 8 題で、例年通り大問 1 が長文読解、大問 2 が文法・語法、大問 3 が語彙、大問 4 が会話文読解、大問 5 が文整序、大問 6 が資料読解、大問 7 が英文和訳、大問 8 が和文英訳であった。大問 1 は英文のテーマが把握しづらく、例年に比べてやや難化した。また、大問 8 の英作文も 1 日目に比べてテーマ・使用する構文ともに難しく、ここで差がついたと思われる。

## 【 解 答 ・ 解 説 】

1

問 1. エ

第一段落第 1 文目に”*Rhinella marina* has been one of the most damaging introduced species in Australian history”つまり「オーストラリアの歴史でも最も被害を与えた外来種の一つ」とあるため選択肢エが正しい。選択肢アの amphibians は両生類を指すが、その後の記述で *Rhinella marina* は在来のカエルを食べるとあるので不適。選択肢ウについては”kill would-be predators like snakes”とあるため不適。

問 2. ウ

第二段落第 1 文目で「ヒキガエル(=*Rhinella marina*)のオーストラリアへの導入は地域の問題に対して善意からでた対応であった」とあり、その問題の詳細を以下で説明している。そのため選択肢ウが正解。

問 3. イ

第三段落第 2 文目”Hoping to ~ the following month”から、オーストラリアへハワイから 6 月にカエルを移し、その翌月つまり 7 月の間餌を与えて育てたとあるため選択肢イが正解。選択肢アについてはハワイとオーストラリアの関係性が反対である。選択肢ウについては”released ~ in August”とあるため誤り。選択肢エについては記述がない。

問 4. イ

dissenting が修飾している entomologist Walter Froggatt はヒキガエルについて厄介な害獣になりうると警告している。これはヒキガエルを害虫駆除に用いた取り組みに反対する意見であることから選択肢イだと判断できる。また、dis-という接頭辞が「反対」のニュアンスを持つことを考えて「反対する・同意する」といった意味になることを推測することも可能。

問 5. ア

[ 1 ]の前の文で Walter Froggatt はヒキガエルが害獣になりうると警告をした。そして[ 1 ]の後ろではその警告が他の科学者たちには受け入れられなかったことが述べられているため、逆説を表す副詞が当てはまる。

問 6. ウ

第四段落第 4 文目に”An alternative approach which poses fewer risks ~ by scientists”とある。ここからヒキガエルの卵を破壊する取り組みは他の取り組みに比べて他の生き物への危険性が低いことが述べられているため、反対のことを主張している選択肢ウが正解。

問 7. エ

第 4 文目から非致死性の効果を持つ肺中を寄生させる実験を行なったが、結果は残念なものになったとある。この残念な結果を「proliferation をわずかに遅めることしかできなかった」と言い換えている。致死性が無いことなどをヒントに proliferation は増殖=spread に最も意味が近いと判断できる。また、pro-という接頭辞が「前・賛成」のニュアンスを持つことを考えて「繁殖」といった意味になることを推測することも可能。

問 8. ア

第五段落第 2 文目で”In the 1990s, ~”とあり、ベネズエラからカエルにとって致命的なウイルスを導入することが計画されたのは 1990 年代のこととわかる。その後、第 3 文目で”The following decade, ~”とあり、GMO が検討されたのは 2000 年代とわかるため、アが正解。

問 9. ウ

第六段落第 3 文目にフクロネコに関する研究の記述があり、”~, whose taste for cane toads has often proved fatal”とあるため、ウが正解。

問 10. エ

第七段落第 4 文目に”~ may be ~”とあり、ここが筆者の主張であると考えられる。助動詞は、話し手の意見や気持ちを栗原素表現なので、筆者の主張を読み取る問題を解く際にはチェックを入れたい。この文で、「人間の行う対策は危険で、思慮の至らないものがある」とあるため、エが正解。

問 11. ア

第六段落第 4 文目に”This approach may reduce ~, but …”とあり、逆説の後ろは主張となるので、研究結果の結論と推測できる。ここには、在来種の死亡数を減らすかもしれないが、ヒキガエルの数の増加を抑制するという点で何も成果がない」と記述があるため、アが正解。

問 12. イ

本文のタイトル問題は、筆者の主張を探すことである。問 10 同様、第七段落第 4 文目に”~ may be ~”とあり、ここが筆者の主張である「人間の行う対策は危険で、思慮の至らないものがある」とあり、オオヒキガエルは我々人間がもたらした問題であることがわかるため、イが正解。

問 13. 1 : T, 2 : F, 3 : F, 4 : T

1 : 第一段落第 3 文目に”there is a 150 year history behind traffic signals ~”とあるため 1 番の「信号技術の歴史は 1 世紀以上前に遡る」という記述は正しい。

2 : 第三段落の”the first electric signal”についての説明の中で”operated by a police officer”とあるため誤り。

3 : 第四段落冒頭で述べられているように、4 つずつの赤と緑の電灯のシステムのデザインに携わったのは James Hoge であるため誤り。William Potts が開発に携わったのは黄色い電灯である。また、問題文にある”instrumental”には「助けになる」という意味がある。

4 : 第五段落第 2 文目”In the 1950’s, ~”において、信号が自動的に変わる仕組み(pressurized plate)が導入されたことが言及されているため正しい。

## 2

1. ウ

“I can’t wait to graduate!” からも推測できるように、「9 月になると 10 年間博士号取得に向けて取り組んでいることになる」という文意である。これより未来完了形のウを選ぶ。

2. イ

文頭が Not から始まっており、文頭に否定語を置くと、後ろでは疑問文型倒置となる。疑問文の語順になっている選択肢を選ぶとイが正解。

3. イ

had better ~で「~すべきだ」の意味。「~すべきで無い」と否定したいときは had better not ~の語順となる。この文では「(秘密のパーティーについて)いべきでなかった」と過去のことを表すため助動詞 have Vp.p. ~ (had better not have Vp.p. ~) となる。よって選択肢イが正しい。

4. エ

“( ) for ~ March,”は副詞句となる。接続詞・関係詞など文をつなぐ役割の単語はないので、動詞の形になるイ・ウは不適。( )の後ろに set の目的語がないため、受動の分詞構文になるエが正解。「締め切りが設定された」という文意。

5. ア

the same を修飾できる語をえらぶ、much the same で「ほとんど同じ」という意味。

6. エ

この文は There are so many concerns ~. と It is natural. という 2 文に分解できる。このうえで、to 不定詞の意味上の主語を明らかにする時には前置詞 for を伴う。there is 構文を不定詞に書き換える場合、there を S として見立てて”for there to be ~”の語順とするため、選択肢エが当てはまる (there は副詞であり、本来は S にならないので注意)。

7. ウ

every ~ but O で「O 以外のすべて」という意味。この but は前置詞であり、「～以外」と訳す。

8. イ

人の性格・評価等を表す形容詞は目的語の前に前置詞 of を伴って表現される(kind of ~など)。選択肢の中に形容詞は protective のみであるため選択肢イを選ぶ。

9. ウ

I would have been ~ からわかるように「あと 5 分早ければ、特急列車に乗ることができたのに。」という仮定法の文章である。接続詞 and は「そうしていたら」という仮定の意味を持つことがあるため and が当てはまる。

10. ア

What little ~ S V で「S が V するほんの少しの～」という意味を持つ。with は仮定法を示しており、全体は「あとほんの少しのエネルギーが残っていれば、彼女はボートに自力で上がることができただろう。」と訳せる。

### 3

1. ウ

the pot calling the kettle black は「ナベがヤカンを黒いと呼ぶ」つまり自分のことを棚に上げて他人を責めることを意味する。「他の国の汚染を責める発言者」について説明する文であるため、hypocritical(偽善的)を選ぶ。

2. イ

stain は「シミ」の意味。「Daniella は彼女のシルクのドレスを見つけたが、大きな( )に覆われていたため着ることができなかった」と訳せる。汚れの類だと推測できることからイの marks を選ぶ。

3. エ

torment は「悩ませる」の意味。( ) by feelings of guilty ~ という記述から、「罪の意識の囚われる・苦しむ」といった意味だと推測できる。trouble ~ が「～を苦しめる・悩ます」の意味であるため選択肢エが正解。

4. ア

witty は「機知に富んだ」の意味。Winston Churchill の人気の理由について、his gift for making ( ) comments つまり「～なコメントをする才能」とあるためプラスな意味の言葉が入ると推測される。amusing は「面白い」という意味であるためこれを選ぶ。

5. エ

postulate は「～と仮定する」の意味である。postulate の後の部分で「インターネットは世界経済に劇的な影響を与えてきたし、これからもそれは続くだろう」とある程度客観的に正しい事実を述べていることから、「仮定する」の意味を持つ assume を選ぶ。

6. イ

rupture は「裂傷・破裂」という意味を持つ。「選手はコートから運び出される前に、酷い( )に苦しんだのではないかと医師は疑った」と訳せる。( )には怪我や痛みの描写が入るのではないかと考えられることから、「破裂」の意味がある tear を選ぶ。

7. ア

carry out は「～を実行する」の意味である。perform a task で「仕事をする」という意味であるため選択肢アを選ぶ。

8. ウ

obscure は「曖昧な、あまり知られていない」という意味。これは文脈から判断するのが難しい。obscure は意味を抑えておきたい単語。知られていないという意味から選択肢ウ unknown を選ぶ。

9. エ

cut corners は「最も安易な方法を取る、手を抜く」の意味。「新しい家を建てるにしても、古い家を回収するにしても、私たちの会社は絶対に( )しない。」という意味。会社の習慣であることから( )内はマイナスの内容を想起する。これより選択肢エを選ぶ。

10. エ

fill O in ~で「～にOのことを知らせる」の意味。「私は会議に遅れて到着した」という文に逆接で続く内容を考える。すると、怒ったなどの内容ではないことが推測され、選択肢エが導かれる。

4

1. ウ

lock in は「確定する」という意味である。ここまでの文章の流れとしては雑誌の発行を記念するパーティーの会場を決めようとしている。会場を予約しても良いかという問いに対して「そうしたいが、発行日が( )していない。」と答えていることから lock in は決める・確定するといった意味だと推測できる。

2. イ

6行目で“you would have full use of the AV equipment at no extra charge”とあるため選択肢イが正解。

3. ア

30行目で“we have to do that (=cleaning) too? I’ m not sure it suits us.”とあることから Jocelyn は清掃を嫌がっていることがわかるためアが正解。選択肢イについては11行目で launch に来る人数について “It could be a few dozen, but hopefully a hundred or so ”とあることから 200人というのは誤り。選択肢ウについては、8行目に “We’ll just go with what’s here”とあり、Jocelyn は会場の設備に満足していることがわかる。選択肢エについては32行目で “I’ll book online the following day. ”つまり、木曜日の会議で承認されれば翌日に予約をすると述べているため誤り。

#### 4. ア

17 行目で **accessibility** について説明されている。**accessibility** とはバリアフリーなどを含む、施設等の利用のしやすさを意味する。エレベーターやバリアフリーのトイレ、優先駐車場などがあることが述べられているため選択肢アが正解。選択肢イについては 13 行目で、収容人数は 230 人とあるため誤り。選択肢ウについては、直接的な記述はないがエレベーターがあると説明されていることなどから誤りとする。選択肢エ については 2 行目で "It's much roomier than it looked on the website!" と Jocelyn が述べているため誤り。

#### 5. イ

7 行目 **our ratings ~ will hopefully give you some fresh ideas for your own podcast playlist** とあることから、この番組の狙いの一つはリスナーに最新の **podcast** の情報を提供することだと分かるので選択肢イが正解。4 行目に **Once a week** 「週に一度」とあるので選択肢アは不適。4,5 行目 **rate them from lowest, at one star, to highest, at five star** とあり、5 つの星で評価するとあるので選択肢エも不適。選択肢ウ **a long history on WJAK radio** は会話で言及されていない。

#### 6. ウ

**hand-hitting** を含む一文は、"**~ hand-hitting questions that challenge his guests with their difficulty.**" とある。**that** 以下が関係詞節であり、**hand-hitting questions** を先行詞とする（つまり、詳しく説明している）。**difficulty** は「困難」であり、ゲストにとって答えるのが困難な質問と考えれば、選択肢エ **tough** は「堅い、難しい」が正解。

#### 7. ウ

17,18 行目 **Tina** の発言の意味は「スポーツの話題に多くの時間が使われているがあまりスポーツに興味がないため退屈である。」というものであるから選択肢ウが正解。他の選択肢は **Tina** が 3 つ星の評価をした理由として不適。

#### 8. エ

28 行目に **narratives** 「語り」および **monologue** 「独白」とあり、**discussion** や **debate** の形式を取っていないことが分かるので選択肢エが正解となる。選択肢アは 21 行目にある「結婚・友人・家族などの関係を扱う」という趣旨の文に対応している。また選択肢イは 21,22 行目 **essays read aloud by famous people** の言い換えである。24 行目に **a reasonable length at 30 minutes** とあるので選択肢ウも正しい内容である。

## 5

#### 問 1. ウ

1 の文頭に逆接を表す **However** が用いられていることから、直前に 1 とは逆の内容を意味する文が来るはずである。ちょうど 2 の内容が 1 と逆になっているため、2→1 の順が確定する。4 の文頭には **This new practice** とあり、この **This** が何を指すかを考える。1 の **some British courts began to use fingerprint evidence** を指していると考えると整合するので、4 は 1 の直後に来るのが適当である。2→1→4 では **fingerprint** に関する過去の話が述べられており、3 は **Today** から始まり現代の話をしているため、時系列の順に並べると 2→1→4→3 となる。

問 2.エ

1の冒頭 **this ecological impact** は4の **problems for the environment** を指すと考えられるので4の直後に1が来る。また2に登場する **it** は「開発するのに何百年もかかる」ものであり、かつ「すぐには切り替えられない資源」であることから3の **Coal** を指すので、3の直後に2が来ると考えられる。以上より4→1および3→2の順が確定するが、4冒頭の **Furthermore** が文章の始めに来るはずはないので、3→2→4→1となる。

問 3.イ

2文頭の **This** は「お茶が冷めるのを妨げる」ことであり、2の文中に **empty cup** の話がなされていることから、4の **tea is often poured until the cup is only one-quarter full** を指している。そのため4の直後に2が来ると考えられる。4の文中 **however** は直前の文との逆接を示すが、4とちょうど逆の内容を表しているのは1の文である。すなわち1の直後に4が来る。3の文頭 **In fact** は文章の最初に来ることはないので、1→4→2→3の順になる。

問 4.エ

3の文中に登場する **they** に注目する。**they** は「指輪を売る」人であることから4の **a person** を指す。**they** は一般には複数の人または物を指すが、**a person** のように単数で性別が分からない人を指すこともある。以上より4の直後に3が来るとわかる。また、4の **this trick** は2文末の” **ring trick** ” であると考えて問題ないので2の直後に4が来る。1を最後に配置すると、文章全体として” **phony** ” という言葉は” **fawney** ” という言葉に由来するという話になり、整合するので2→4→3→1となる。

6

(1) ア

**food banks** の値が変動していない年が問われている。左図から値が20で変動していない2014-2015を選ぶ。

(2) イ

2018年の **Food banks** は2013年の何倍か問われている。2013年は10、2018年は60であるため6倍が正解。

(3) イ

2020年の **food waste** は2013年に比べてどのくらいの割合になっているか問われている。2020年は4、2013年に12であることから、 $\frac{1}{3}$ を示す選択肢イを選ぶ。

(4) ウ

2020年は **food waste** が **6 millions of tons** 以下になった何番目の年か問われている。これより2015年から数えて6番目であるため選択肢ウを選ぶ。

7

(1) 【解答例】しかしながら、機械が人間の感情や心理を理解することができないことを考えると、長い間機械には不可能であると考えられていたのは人の魂に響く音楽を作曲することである。

given that ~ は「~とすれば、~ならば」という意味。

(2) 【解答例】音楽に精通した聴き手でさえも、人間が作った曲と人工知能が作った曲を見分けるのは予想外に難しいことがわかった。

finely-tuned は「細かく調整された、きめ細かい」の意味。find O Cで「OがCだとわかる」

IV

(1) 【解答例】He is the main figure of a famous fairy tale, who spends a couple of days at the bottom of sea and realizes that decades have passed when returning to the earth.

(2) 【解答例】This supported the theory that he had believed was true, that time would go on way more slowly in a spacecraft traveling at close to the speed of light in zero gravity, than on earth.